令和４年度　事業案内

「世田谷区福祉人材育成・研修センター 令和４年度 事業案内」を作成し、各事業所にお送りしました。事業所における計画的な研修受講にお役立てください。

令和４年度も引き続き、従来の集合研修と動画を視聴する動画研修、ZoomなどWeb会議システムを活用したライブ研修を実施します。

ライブ研修の受講に不安を感じている方等には、「Zoom初めてレッスン」を研修センターホームページからご自身の都合に合わせて24時間ご視聴いただけます。

「令和４年度 事業案内」は、研修センターホームページからもダウンロードができます。また、皆様のご意見等を伺う「研修センターご意見箱※」に、ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください。

※研修センターホームページ＞お知らせ＞研修センターご意見箱

せたがや福祉区民学会 第13回大会開催報告

せたがや福祉区民学会第13回大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、昨年同様Webを活用し開催しました。第13回大会の実績を、「報告集※」としてまとめました。

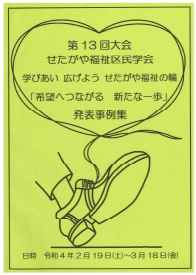
今大会は7つの分科会に、高齢福祉・障害福祉・子ども分野の事業所、学生、地域の活動団体などから、49の発表がありました。大会初日にはZoomを活用し、学生理事・学生実行委員を中心に、「希望をもって暮らしつづけられるまちとは」をテーマにワークショップを開催しました。

コロナ禍でも様々な取組みが行われ「世田谷の各地に広がることを期待します」などの声がありました。

●第１３回大会実績（3月31日現在視聴回数）

・全体会（挨拶、基調講演）300回　・分科会：　合計2,452回
・ワークショップ：　117回　・大会総括:　108回

分科会の視聴回数	第１分科会	子ども・若者が輝くまち 世田谷	３事例	49回 ～ 77回
	第２分科会	地域をつなぐネットワーク	８事例	48回 ～ 102回
	第３分科会	多様性を認め合う共生社会づくり	６事例	50回 ～ 68回
	第４分科会	ケアにおける協働・連携	６事例	41回 ～ 48回
	第５分科会	福祉の魅力向上・発信	４事例	37回 ～ 83回
	第６分科会	一人ひとりに向きあった実践	１４事例	42回 ～ 305回
	第７分科会	新しい生活様式における取組み	８事例	44回 ～ 320回



※13回大会までの「報告集」は、福祉区民学会ホームページ「資料ダウンロード」でご覧いただけます。

せたがや福祉区民学会　検索

編集後記

新年度がスタートして、早いもので1か月が経ちますね。
新学期、「1年生のお世話係になったよ～」と嬉しそうに話す娘。
昨年、小柄な娘は「1年生の下駄箱はここだよ」と言われちゃった～と、帰ってきたことを想いだす。
今朝もはりきり、早起きし登校。頼もしく成長した子どもの姿にほっこり。
最高学年、元気に楽しく笑顔あふれる1年になりますように☺☺☺

発 行：世田谷区福祉人材育成・研修センター
〒156-0043世田谷区松原６-３７-１０
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ１階
電 話：０３－６３７９－４２８０
FAX：０３－６３７９－４２８１
Ｈ Ｐ：https://www.setagaya-jinzai.jp/

世田谷区福祉人材育成・研修センター　だよ
じんざいくん便り
令和４年４月　第１２号

世田谷発　介護の魅力を世田谷から発信
KAiGO PRiDE @SETAGAYA　写真展

KAiGO PRiDE @SETAGAYA 写真展に向け、17組21名の介護職の撮影が行われました。KAiGO PRiDEプロジェクトにおける首都圏での撮影は、今回が初めてです。外国籍の方や、ご夫婦で介護職に従事されている方々など、多くの皆様にご協力いただきました。
写真は「玉川せせらぎホール」で開催される「KAiGO PRiDE @SETAGAYA トークセッション＆写真展」で初披露。写真展は「世田谷区立保健医療福祉総合プラザ」などで順次開催します。トークセッションは、保坂区長も登壇。KAiGO PRiDE代表マンジョット氏、同理事石本氏とともに介護について熱く語っていただきます。

●トークセッション＆写真展:令和4年5月3日(火・祝)12時～17時(トークセッション13時30分～15時)
　会　場：玉川せせらぎホール（大井町線　等々力駅前　玉川区民会館）
●写 真 展：令和4年5月4日（水・祝）～6月3日（金）
　会　場：世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階　ふれあいカフェ　うめとぴあ

当日の撮影風景！プラザの会議室がスタジオに早変わり！皆さまご協力ありがとうございました！！

皆様、自分の衣装で参加。外国籍の方は、民族衣装での撮影。皆様、本当に素敵でした!! お披露目が楽しみです。

「福祉のしごと　魅力向上・発信シンポジウム」

Zoom

働きやすい職場環境の整備に向けて～世田谷区福祉事業所調査の結果を踏まえて」を開催しました。

Zoom:令和4年3月23日　録画配信:令和4年4月　公開:令和4年5月1日～令和5年3月31日

①講演「これからの福祉事業所に求められること」・進行
中村　秀一氏（世田谷区地域保健福祉審議会会長　国際医療福祉大学大学院教授）

②報告１「世田谷区福祉事業所調査結果から見える現状と課題」
瓜生　律子（世田谷区福祉人材育成・研修センター長）

報告２「デジタル機器の活用と業務改善へ向けた取組み」
市橋　奈緒美氏（特別養護老人ホーム　久我山園施設長）

報告３「持ち上げない介護の取組み」
佐賀　勝之氏（特別養護老人ホーム　上北沢ホームサービス係長）

報告４「外国人人材、認知症緩和ケア日本版BPSDケアプログラムの活用」
石井　りな氏（特別養護老人ホーム　等々力の家施設長）

報告５「職員の離職防止の取組み」
相川　しのぶ氏（株式会社やさしい手世田谷支社副支社長）

●事業所の皆様、調査にご協力いただきありがとうございました！！
・シンポジウム公開(5月1日～)：研修センターHP＞福祉のしごとの魅力発信
・調査報告：研修センターHP＞調査・研究報告＞令和3年度報告書　に保存

令和３年度 医療・福祉連携研修 特集

医療と福祉の従事者が、テーマに沿って医療知識について学び、多職種によるチームケアにおけるそれぞれの役割や専門性に対する理解を深めることを目的に、4本の研修を実施しました。令和3年度はZoomによるライブ研修と、その録画視聴の組み合わせの形式を採用し、多くの方へ受講機会を提供しました。

自立支援・重度化防止における臨床検査データの活用

【Zoom研修】開催日：令和4年1月14日（金）
【録画視聴】視聴期間：令和4年1月21日（金）～2月18日（金）

臨床検査データが示す意味について理解を深め、そのデータを読み解き、身体の内部で起こっている生理現象を的確に捉えることで、利用者の健康管理や自立支援・重度化防止に向けたケアにつなげていくことを目的に研修を行いました。

医療法人社団創福会
ふくろうクリニック等々力
院長　**山口　潔 氏**

区健診で診る検査項目

- 血液検査
- 尿検査
- 心電図検査
- 眼科検査
- レントゲン検査

主に**内臓のチェックを中心**に行っているが、それ以外の部分は見落としている場合がある！

従来の区健診は高齢者の自立支援・重度化防止にあまり役立たない？？

- 従来の健康診断は**生活習慣病**のチェックが中心。当時の日本人の死因トップであった、脳卒中、心筋梗塞の予防には役立った。
- 高齢者の自立支援・重度化防止に必要なのは･･･

低栄養・サルコペニアチェック
ロコモ・フレイルチェック
認知症チェック

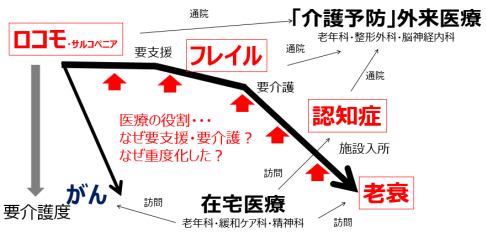
健診はメタボ対策からフレイル対策へ！

- BMIと生存率：やや肥満の人の方が生存率が**高い**
- 総コレステロールと生存率：やや高い人の方が生存率が**高い**

- **フレイルは要介護と病気の前兆**
  フレイルの方の５０％は５～６年で要介護に？！

- **アルツハイマー型認知症と体重減少**
  - アルツハイマー型認知症では体重減少の合併が多い。
  - 日本人は痩せている人が認知症になりやすい！
  - 認知症発症後に体重減少（サルコペニア）があると、認知症の進行が速くなる？！

自立支援･重度化防止における医療との連携



生涯、口から食べる支援 ～OHAT（オーハット）の活用～

【録画視聴】視聴期間：令和4年3月1日（火）～3月31日（木）

自立支援・重度化防止に大きく関わる口腔機能について理解を深め、歯科医師をはじめとする多職種連携による支援力の向上を目的に研修を実施しました。

医療法人社団恵安会
日大通り歯科
理事長　**馬場　安彦 氏**

要介護者に対する歯科治療上の課題

◆歯科治療の必要性については**74%**の者が**何らかの歯科治療が必要**

◆実際に歯科治療を受診した者は**27%**

◆要介護者は口腔内の状況が悪化しやすく、歯科治療を必要としているケースが多いにもかかわらず、歯科治療を受診した者が少ない

一方、医科受診については97%の者が定期的に受診している！

口腔機能を診るポイント

- お話（おしゃべり）ができるか？
- 舌が動くか？
- ぶくぶく嗽（うがい）ができるか？
- 咳払いができるか？
- 首が動くか？

➡ **残存能力の把握**

施設内で楽しいこと

	第１位	第２位	第３位
特養老人ホーム	食事	行事参加	家族訪問
老人保健施設	食事	家族訪問	行事参加
老人病院	食事	家族訪問	テレビ
療養型病床群	食事	家族訪問	テレビ

どれだけ**楽しく**食事ができるか検討する！

終末期ケアへの支援
（人生の最終段階）

- 在宅歯科医療において、終末期の患者とどう向き合うか
- 終末期ケア、緩和ケアでの口腔ケア
- 多職種との連携・協働

「食べる」を最後まで支える！

オーハット（OHAT）とは？
Oral Health Assessment Tool

口腔内の状況を評価するツール（口腔アセスメント用の評価表）

新型コロナウイルス感染症対策 ～うつらない・うつさない・重症化させない～

【Zoom研修】開催日：令和4年2月16日（水）
【録画視聴】視聴期間：令和4年2月28日（月）～3月25日（金）

新型コロナウイルス感染症がまん延する昨今、今後も強い危機感を持ちながら感染症について正しく理解し、感染症対策の徹底を図れるよう最新の感染情報や留意事項等を学びました。

松原ファミリークリニック
院長　**岩澤　晶子 氏**

これまでの感染対策を振り返る

- **検査の限界**
  抗原検査は無症状者の検査に向かない
  陽性になるのは症状が出てから
- **ワクチンの盲点**
  重症化を防ぐが「うつる」し「うつす」
- **健康チェックの限界**
  発熱しないコロナ患者も多数いる
- **感染防止対策の限界**
  アルコールで防げるのは接触感染だけ

『100%の感染予防は不可能』

- 万全の対策だから大丈夫、という油断が感染拡大につながる
- 「人を見たらコロナと思え」
- 100%の予防は不可能という認識から感染対策をスタートする

① 接触メンバーの固定
② 濃厚接触にならない行動
③ 早期発見
④ スタッフ周囲の人間にも気を付ける

新型コロナウイルス「うつらない」「うつさない」ために

「接触感染」感染リスクを減らす

- 手洗いと消毒
- 顔に触らないようにする

「飛沫感染」感染リスクを減らす

- ３密の回避（密集・密接・密閉）
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気

飛沫量×時間÷換気＝飛沫感染リスク

- 時間を短くする
- 換気を良くする

感染経路として大きいのは飛沫感染

新型コロナウイルスは、感染者が咳を一度した場合で約700個、くしゃみで約4万個発生すると言われています。エアロゾルの場合、約30分程度、それよりも小さな飛沫だと12時間以上に渡り空気中を漂う可能性があります。

新型コロナウイルス「重症化させない」ためには

- やっぱりワクチン
- 治療薬はまだ一般的に使われているとは言い難い
- 重症化しやすい基礎疾患をきちんと治療
- 重症化しやすい人にうつさない（早期発見）

オミクロン株に対するワクチン接種による重症化予防効果

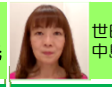
長崎大学等の研究チームの調べでは、オミクロン型の流行が広がった期間において米ファイザー製か米モデルナ製の２回接種の発症予防効果は51.7%であるが、ワクチン接種の有無によって重症度も異なることが少しずつ分かってきています。

2回接種者：入院が約64%減少
3回接種者：入院が約89%減少

在宅療養における薬の知識と薬剤師との連携

【Zoom研修】開催日：令和4年2月22日（火）
【録画視聴】視聴期間：令和4年2月28日（月）～3月25日（金）

玉川砧薬剤師会理事
薬局わかば　**水越　淳友 氏**



世田谷薬剤師会理事
中島薬局　**原田　由美子 氏**

医療と福祉の連携を推し進められるよう、薬に関する知識について学びました。また、薬局や薬剤師との円滑な連携を目指し、多職種連携を行う際の問題点についてディスカッションを行いました。

基調講義１「抗血栓薬について」

- **血栓症とは？**

何らかの原因で血管の中に血のかたまり（血栓）ができ、それによって血管がつまってしまう病気

脳梗塞・心筋梗塞・肺塞栓など

- **抗血栓薬の種類**
  - 抗凝固薬
    凝固因子の働きを遮断する
  - 抗血小板薬
    血小板同士の結合を防ぐ
  - 血栓溶解薬
    血栓症の治療に用いられる

- **抗血栓薬服用中の注意事項**
  - 転倒やケガに注意
  - 皮下出血など気になる症状は医師や薬剤師に相談
  - 手術や検査前に中止すべき薬がある場合も･･･

基調講義２「抗血栓薬服用の事例」

抗血栓薬服用患者の抜歯事例

重度歯周病で抜歯することになった際、抜歯当日の朝に、内服しないよう事前に作り直して分包しておいた抗血栓薬を内服してしまったケース

在宅療養において･･･

多職種：
薬の変更点がわからない
患者さんの服薬で困っている
患者さんが間違えそう
上手く飲めない

薬剤師に伝える ⇕ 多職種にフィードバック

薬剤師：
飲みやすくなるように配薬
再度説明
生活面で気付いたこと

日頃から多職種で連絡を取り合い、「**みんなで把握して利用者に声掛けをする**」

パネリストの方々

世田谷薬剤師会
顧問　**小林 哲男 氏**

- 佐々木 睦 氏：世田谷薬剤師副会長
- 黒﨑 まいこ 氏：上馬あんすこ
- 梶原 保紀 氏：太子堂介護保険S
- 渡邉 竜子 氏：太子堂介護保険S
- 森田 恵子 氏：世田谷ホームヘルプ

パネルディスカッション「患者さんのために多職種連携をすすめる工夫」

- 多職種連携においてもそれぞれの仕事がメインとなる。その上で利用者や家族の状況確認を共有。
- 本人及び家族の本当の意向は何かを確認。
- よく聞くこと、しっかり伝えること、決めること。
- 本人や家族にとってベストな方法を多職種で理解、共有し、それぞれが根気よく伝える。
- 困難事例の突破口は患者さんと一番近い人が介入、ケアマネジャーに情報集約する。
- それぞれの立場からの工夫が必要。
- 薬剤師もみんなと一緒にお手伝いする。